

肝付町戦没者追悼式に180名参列

2月27日、町文化センターで肝付町戦没者追悼式が行われました。昨年に引き続き町が主催して2回目となる今回は、遺族をはじめ町民ら180名が参列しました。

肝付町議会の恒吉智彦議長と遺族会を代表して永野昌秀さんが追悼のことばをそれぞれ述べ、楽笑吟友会による献詠が行われました。その後、参列者が次々と献花をし、内之浦小・中学校の代表4名も献花しました。最後は、内之浦中学校2年生の福丸瞬矢くんが平和のメッセージを朗読し、追悼の意を表しました。



防火の意識を高めよう！第31回「消防のひろば」

3月5日、町文化センター体育館にて第31回「消防のひろば」が開催されました。これは3月1日から7日までの春季全国火災予防運動期間中に、より防火の意識を高めようと大隅肝属地区消防組合東部消防署が主催するものです。

当日は東部消防署管内の幼年消防クラブが一同につどい、肝付町からはおおぞら幼稚園・あけぼの保育園が参加しました。開会式では、「火遊びをしない良い子になります。」と誓いのことばを述べた後、競技やゲームを通じて幼年消防クラブ同士の親睦を深めました。大声大会では人気キャラクターのパネルから顔を出し、「火事だー！」と叫び誰が一番大きな声を出せるか競いました。



高山准看護学校第50期生卒業式

3月7日、町文化センターで平成30年度高山准看護学校の卒業式が行われました。平成最後の節目の年に、第50期生10名が希望を胸に学び舎を後にしました。

式では、永野秀明校長が「今日は支えてくれた多くの方々と卒業の喜びを分かち合ってください。」と式辞を述べ、永野和行町長は「みなさんが今後、地域医療の大きな支えとなることを期待しております。」とあいさつしました。

卒業生の一人である馬場園智文ちふみさんは、「ここでの学びは大きなものでした。資格だけでなく、学校で出会えた縁が本当にありがたかったです。地域の医療に貢献できるよう、今後も日々努力を続けます。」と話されました。

